



2026年7月31日

各 位

会 社 名 大 和 工 業 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 小 林 幹 生
(コード番号: 5444 東証プライム)
問合せ先 常務執行役員 花 本 昭 彦
(TEL 079-273-1061)

業績予想の修正に関するお知らせ

2026年4月30日に公表いたしました2027年3月期（2026年4月1日～2027年3月31日）の第2四半期（中間期）連結業績予想及び通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2027年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想の修正（2026年4月1日～2026年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	80,000	500	35,000	24,000	401.66
今回修正予想(B)	86,500	800	45,500	28,500	476.97
増減額(B-A)	6,500	300	10,500	4,500	
増減率(%)	8.1	60.0	30.0	18.8	
(ご参考) 前期第2四半期（中間期）実績 (2026年3月期第2四半期（中間期）)	76,180	1,994	27,928	19,133	310.82

2. 2027年3月期通期連結業績予想の修正（2026年4月1日～2027年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	166,000	4,500	68,000	47,000	786.58
今回修正予想(B)	178,000	3,200	87,000	57,500	962.30
増減額(B-A)	12,000	△1,300	19,000	10,500	
増減率(%)	7.2	△28.9	27.9	22.3	
(ご参考) 前期実績 (2026年3月期)	160,389	4,495	65,235	62,389	1,024.60

3. 修正の理由

今後の見通しにつきましては、中東情勢の緊迫化が続くなか、世界経済の先行き不透明感が一段と高まっております。また、中国国内における鋼材需要の低迷を背景に、中国からの安価な鋼材輸出は引続き高水準で推移するものと見込んでおります。このような状況のもと、当社グループを取り巻く経営環境は、米国を除く各拠点において総じて厳しい状況が続く見込みであります。一方、米国事業においては、需給バランスが維持されており、引続き高水準の収益を確保できる事業環境が続くものと見込んでおります。各拠点において、中国材流入への対応を含む販売戦略の強化を進め、引続き販売数量の確保、鋼材マージンの維持・改善及びコスト低減に努めてまいります。

以上を踏まえ、上期においてタイの連結子会社の業績が想定を上回って推移したことに加え、米国の持分法適用関連会社の業績が上期・通期ともに想定を上回る見込みであることを反映する一方、通期では主に国内連結子会社の鉄鋼事業の収益悪化を織り込み、第2四半期（中間期）の売上高を86,500百万円（前回予想比6,500百万円増）、営業利益を800百万円（前回予想比300百万円増）、経常利益を45,500百万円（前回予想比10,500百万円増）、親会社株主に帰属する中間純利益を28,500百万円（前回予想比4,500百万円増）に修正するとともに、通期の業績予想につきましては、売上高を178,000百万円（前回予想比12,000百万円増）、営業利益を3,200百万円（前回予想比1,300百万円減）、経常利益を87,000百万円（前回予想比19,000百万円増）、親会社株主に帰属する当期純利益を57,500百万円（前回予想比10,500百万円増）に修正いたします。

(注) 業績予想につきましては、現時点で当社が入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいており、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と大きく異なる可能性があります。

以 上